

2023 年春派遣活動報告書

藤浦 大
21F1102020G

- 留学形態：交換留学
- 留学先国：オーストラリア
- 留学先大学名：シドニー工科大学
- 留学期間：2023 年 2 月～2023 年 12 月
- 留学後から現在までの語学習得状況

現地で言語を学習するにあたり常に心がけていたことは自身を英語を話さなければならない環境に身を置くことです。具体的には日本人の人達と一定の距離を取ったり、積極的にイベントなどに参加して徐々に自分のコンフォートゾーンの外に出てみることを心がけました。そのおかげでオーストラリアの現地の人と交友関係を築くことができ充実した生活を送りながら語学習得にも取り組むことができました。また、自分の中で一番英語力が伸びたと感じた活動は現地でのアルバイトです。現地の人や他の国の人たちと共に働くことで教科書や検定で習う英語よりもより実用的な英語を学ぶことができ、コミュニケーションが以前と比べて格段にスムーズになったのを覚えています。

● 授業について（全体的な感想）

日本の大学と比べて大きく違った点の一つの科目の中に 2 つの授業があったことです。まず、**Lecture class** と呼ばれる授業でその日学ぶコンテンツのインプットを行い、次の **Tutorial class** と呼ばれる授業でその学んだことをもとにディスカッションやプレゼンを行うというシステムで、とても効率的で効果的な授業体制でした。授業の内容に関しては、自分の予定通り前期は包括的なマネジメントについてを中心に学び、後期で自分が知識を深めたかったスポーツビジネスに応用することができたと思います。試験や課題に関しては、全て現地の人と同じ英語レベルでエッセイやプレゼンテーションを完遂すること

が求められていたため、最初の方はついていくのでやっとでしたが、友達や大学の手を借りながらなんとか単位を取得することができました。

● 通貨：豪ドル （1ドル＝約 95 円）

● 住居について

・住居の名前：Scape

・住居の手配：大学の斡旋

・住居の種類：大学外の寮

・同居人の有無：有り（自分を含めて 6 人）

・家賃：約 6972 ドル＝63 万円

・住居のアドバイス：

値段だけに捉われず、設備がどのくらい整っているかや、生活必需品の有無の確認などを行うと良いだろう。また可能ならば、契約の前に現地に直接行って内見をすることをお勧めします。オーストラリアはアパートの競争率が激しいので早めの手続きが必須です。

● 食費（1 セメスター分）：約 20 万円

● 保険料：全期間 579 ドル

● 留学先国の医療事情：

病院に一回も行かなかったので詳しくはわかりませんが、保険に入ってさえすればリーズナブルな値段で診療を受けることができると聞きました。

● 通信費（月額）：約 25 ドル

● 衣食住について

洋服は事前に持参したので出費はほとんどありませんでした。食事は食費を節約するためほぼ自炊していました。外食は友達と遊ぶ時以外はなるべく控えるように心がけました。住まいの雰囲気はとても明るく、困った時は協力し合えるような良好な関係を築けていたと思います。

● 日常について

シドニー工科大学は比較的新しい大学なので校舎や図書館もとても綺麗で勉強に勤しむ環境が整っているように感じました。また、留学生へのサポートも手厚く **Essay** の書き方のサポートや不明な点があった際の相談所のような物もあり安心して通うことができました。週末は友達と遊ぶか、残っている課題を進めるなど臨機応変に活用していました。また、大学には **Society** という日本の大学で言うところのサークルのようなものもあり交友関係を広げる上で大きな助けになりました。日本と違う点は、週末は特にお店が夕方まで閉まってしまうところが多かったので周りの生活リズムが朝型なのだと感じました。

● 留学を通して得たこと

語学の向上はもちろんなのですが、自分が一番成長を感じたのは生活面です。留学生活では日々の家事、料理、洗濯など今まで親に当たり前のように頼ってきたものを自分でやらなければなりません。その中で自分がどれだけ親に頼ってきたのかを痛感し、改めて親に感謝の気持ちが芽生えるようになりました。

● これから留学する人へのアドバイス

自分の価値観に捉われず、意味のないだろうと思うものでもまずは挑戦することを心がけてみてください。留学は様々な国の多種多様な価値観に触れられる絶好の機会です。ぜひ、自分がやったことがないことにも挑戦してみてください。